

2016年10月13日

武漢は全国都市渋滞状況ワーストランキングで前回より12位順位を下げた

昨日、武漢市交通管理局の高度道路交通システムメディア連絡会は、Amapの発表した全国主要都市渋滞ワーストランキングで、2016年第3四半期、武漢市は第19位となり、2014年の第7位から12位順位を下げたと公表した。

去年6月、武漢市は全国に先立ちアリババグループと戦略的合作協議書を締結し、「高度道路交通システム」を作り上げた。その後、Amap、Baidu、Tencentの技術を利用し、リアルタイムで道路状況のデータを取ることにした。これらのインターネット会社と協力することにより、交通管理部門は一日に2億以上のデータベースを獲得することができ、毎日20回以上、武漢の全ての道路をカバーすることができるようになった。これらをベースとして、交通運行のビッグデータについて分析及び比較することにより、インターネット+信号区域コントロールシステムを優良化し、車両の交差点での待ち時間を短縮し、通行効率を高めるとともに、ネット、携帯などの様々な情報通信手段により、リアルタイムで道路状況を発表し、通行を導いている。

2016年10月14日

武漢地下鉄空港線は、月末開通準備が整う見込みである

今月末、武漢地下鉄空港線は開通条件が整う。昨日、記者は漢口金銀潭から天河空港まで試乗した。全行程わずか27分間であった。

空港線はすでに運営している2号線1期と繋げて試運転を行った。これは1号線、3号線、4号線経由で乗り換え、武漢三鎮が全て地下鉄で空港へ行くことができることを表している。

現在、地下鉄空港線は無人状態でテスト運行を行っている。

空港線は2号線1期の始発点である金銀潭駅の北から出発し、宏凶大道、盤龍城経由で、府河という川の上を通り、その後、空港高速、馬家湖などの下を通り、天河空港の南からT3ターミナルビルに入る。全長19.5キロの間に、7つの駅を設置する。



地下鉄空港線駅